

口永良部島における島民の帰島について

去る5月29日の口永良部島新岳の爆発的噴火から、6ヶ月余りが経過しましたが、屋久島町と県においては、仮設住宅の建設など島民の方々の生活安定を図るとともに、1日でも早い帰島実現に向けて、口永良部島における公共インフラやライフラインなどの維持・復旧に傾注してまいりました。

今般、気象庁が引き続き噴火への警戒が必要としている一部の地域を除き、復旧作業等も順調に進んでいることから、島民の方々に口永良部島で生活していただける環境が整いつつあるとの判断に至りました。

このようなことから、平成27年12月25日付けで、口永良部島全域に発令している避難指示の一部を解除することとし、同日をもって、島民の方々に帰島していただくことといたしました。

今後とも、現在整備を進めている番屋ヶ峰避難所やヘリポートの早期完成を図るとともに、気象庁などと連携し、観測体制の強化など、島内の防災体制の充実・強化に全力を挙げて取り組んでまいります。

本日まで避難生活を続けてきました島民の方々に対し、温かい励ましとご支援をいただきました全国の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成27年12月11日

屋久島町長 荒木 耕治

鹿児島県知事 伊藤祐一郎